

モバイル'16 研究論文集

特別講演

社会機能を引き出し安全知識循環をエコシステム化する～キッズデザイン産業のケーススタディより～	1
西田 佳史(国研)産業技術総合研究所 人工知能研究センター)	

AR

1111 ARを実現するシースルー型スマートグラスを用いた作業効果の検証	3
遠山 貴大, 木村 瞭太(名古屋大学), 戸谷 貴洋, 宮尾 敏明(セイコーエプソン株式会社) 小嶋 健仁(名古屋大学), 石尾 広武(福山私立大学), 森田 一三, 木下 史也, 山川 達也, 宮尾 克(名古屋大学)	
1112 シースルー型スマートグラスに表示した画像観視時の水晶体調節応答	9
木村 瞭太, 遠山 貴大(名古屋大学), 戸谷 貴洋, 宮尾 敏明(セイコーエプソン株式会社) 小嶋 健仁(名古屋大学), 石尾 広武(福山私立大学), 森田 一三, 木下 史也, 山川 達也, 宮尾 克(名古屋大学)	
1113 拡張現実環境における仮想タッチパネルインタフェース設計ガイドラインの検討	13
若狭 溪一郎(筑波大学情報学群情報科学類 認知支援システム研究室), 古川宏(筑波大学 システム情報系)	
1114 MOVERIOの開発経緯と民生/業務向け利用シーンの紹介	19
宮尾 敏明, 戸谷 貴洋(セイコーエプソン株式会社)	
1115 拡張現実を用いたピアノ学習支援アプリの検討	25
鈴木 隆史(筑波大学情報科学類), 古川 宏(筑波大学情報システム系)	

災害とモバイル

1121 大都市におけるスマートフォンを用いた防災情報システムの開発	31
廣井 悠(名古屋大学減災連携研究センター)	
1122 災害情報収集・活用システムの開発について	35
丹羽 一輝, 廣川 典昭, 大佛 俊泰(東京工業大学大学院)	
1123 被災地公共広報システムの現状と発展	41
金原 大河, 遊橋 裕泰(静岡大学情報学部)	
1124 災害復興過程における防災教育・津波避難訓練でのモバイル・ICT機器活用	45
杉安 和也, 松本 行真, 柴山 明寛, 安倍 祥(東北大学災害科学国際研究所), 平田 萌々子, 昆 周作, 伊藤 大樹(東北大学理学研究科), 松岡 祐也, 佐々木 隼相, 磯崎 匡(東北大学文学研究科)	
1125 閲覧時刻からみた情報配信システムの有用性評価	51
岩ヶ谷 優汰, 遊橋 裕泰(静岡大学)	
1126 東北地域住民の良心が支えるICT買い物支援ビジネス	57
小川 哲司, 遊橋 裕泰(静岡大学情報学部)	

行動支援

1211 父親の子育て情報共有コミュニティの形成	63
橋川 春菜, 遊橋 裕泰(静岡大学情報学部)	
1212 子育てにおける父親参画促進のためのアプリケーションサービスの検討	69
小山 遥, 遊橋 裕泰(静岡大学情報学部情報社会学科)	
1213 共働き世帯の子育てを支援するスマホアプリの検討	75
杉山 遼介, 遊橋 裕泰(静岡大学情報学部)	
1214 学生のスマートフォン使用時間と安全意識及び行動の関連	81
植村 明生(文教大学), 植村 珠枝(筑波大学大学院)	

生理・心理

1221 タブレット端末使用における弱視者の体性感覚利用	87
永井 正太郎, 岡田 明(大阪市立大学大学院生活科学研究科)	
1222 立体映像による複数物体追跡課題の生理・心理効果	89
佐竹 秀一(立命館大学大学院情報理工学研究科), 萩原 啓(立命館大学情報理工学部)	
1223 注意機能の差異および二重課題の過負荷が脳内血行動態と呼吸数、心拍変動に与える影響	95
長澤 大志(立命館大学大学院情報理工学研究科), 萩原 啓(立命館大学情報理工学部)	
1224 聴覚的な時間的圧迫が生理・心理状態に及ぼす影響	101
藪亀 順平(立命館大学大学院情報理工学研究科), 萩原 啓(立命館大学情報理工学部)	

アプリ

1231 モバイルアプリにおける効率的なカード探索-外国人児童向け日本語学習教材を例に-	107
長谷川 旭, 長谷川 聡, 生田 一真(名古屋文理大学), ランソン ポール レジェ, 宮尾 克(名古屋大学大学院)	
1232 リカレントニューラルネットを用いたアプリ市場予測の検討	111
小池 優希, 兼松 篤子, 浦田 真由, 遠藤 守, 安田 孝美(名古屋大学情報科学研究科), 水野 政司(クエリアイ株式会社)	
1233 被検者の恣意性や虚偽性を排除する多点LED式フリッカー検査装置の開発	117
福井 裕, 川野 常夫(摂南大学理工学部)	

モバイル×ビッグデータ-その先の課題を考える-

2111	モバイル×ビッグデータ - その先の課題を考える.....	123
	遊橋 裕泰(静岡大学大学院総合科学技術研究科), 曾根原 登(国立情報学研究所情報社会相関研究系), 加藤 尚徳(株式会社KDDI総研調査1部), 御手洗 大祐(rakumo株式会社)	

移動

2212	超小型モビリティのヒューマンマシンインターフェースの基礎的研究 - 情報提示機器とコンテンツの影響 -	125
	藤山 凜太郎, 大門 樹(慶應大学), 安部 信一, 諸山 和弘((一財)道路交通情報通信システムセンター)	
2213	先方車群情報が発進時の車両挙動に与える影響	131
	松本 修一(文教大学)	
2214	大型車両通行モニタリングにおけるETC2.0プローブ情報とWIM重量計測データの活用検討	137
	築地 貴裕, 鈴木 彰一, 牧野 浩志(国土交通省国土技術政策総合研究所高度道路交通システム研究室)	
2215	遅刻の内的要因と外的要因に考慮した事前行動開始支援システム	141
	津田 啓史, 渋谷 雄(京都工芸繊維大学情報工学専攻)	

ユーザビリティ

2221	腕時計型デバイスに適した文字入力手法.....	147
	尾崎 尚人, 本多 信吾, 田中 敏光, 佐川 雄二(名城大学大学院理工学研究科)	
2222	モバイル端末における注視点移動にともなう3D立体映像の見やすさ.....	149
	小嶋 健仁, 采女 智津江, 杉浦 明弘, 森田 一三, 宮尾 克(名古屋大学情報科学研究科)	
2223	照度環境および水晶球白濁度に着目したモバイル端末の可読性評価	155
	岩田 光平, 石井 佑樹, 松波 紫草, 石尾 暢宏(名古屋大学情報科学研究科), 小嶋 健仁(中部学院大学), 宮尾 克(名古屋大学情報科学研究科)	
2224	モバイル端末における文字サイズの最低下限文字サイズの検討	161
	石井 佑樹, 岩田 光平, 石尾 暢宏, 松波 紫草, R. Paul Lege(名古屋大学), 小嶋 健仁(中部学院大学), 宮尾 克(名古屋大学)	
2225	医療向け多言語翻訳アプリのユーザビリティ.....	165
	長谷川 聡, 長谷川 旭(名古屋文理大学), R. Paul Lege, 宮尾 克(名古屋大学), 高須 拳斗, 坂井 由紀, 杉田 奈未徳, 加藤 啓介(株式会社エスケイワード)	

公開セッション

自動運転社会の実現に向けたHuman Factors研究最前線-産総研自動車ヒューマンファクター研究センターの取り組み- 別冊

特別講演	自動運転によるモビリティ社会の将来	清水 和夫(自動車ジャーナリスト)
講演1	なぜ自動運転でHuman Factors研究が必要か?	北崎 智之(研究センター長)
講演2	自動運転の研究開発の歴史	加藤 晋(知能システム研究部門フィールドロボティクス研究グループ長)
講演3	自動運転中のドライバー状態の評価方法	武田 裕司(認知システム研究チーム長)
講演4	自動運転制御と情報提示がドライバーに及ぼす影響	小峰 秀彦(生理機能研究チーム長)
講演5	自動運転システムへの信頼性と制御範囲外でのドライバー反応	岩木 直(副研究センター長)
講演6	ドライバーパーソナリティと自動運転の嗜好	佐藤 稔久(行動モデリング研究チーム長)
講演7	トヨタが目指す自動運転車 ~Mobility Teammate Concept~	森 大樹 (トヨタ自動車制御システム先行開発部第2自動運転技術開発室 グループ長)
AHFRCLecture	自動車ヒューマンファクター研究が目指すべきこと	赤松幹之(首席研究員)

用語索引	169
Keyword index	170
著者索引	171
Author index	172